

平成29年度第3回 区政モニター会議 会議録（要旨）

平成29年11月7日（火）

（昼の部）午後2時～午後3時40分

区役所 別館6階A会議室

- 1 開会
- 2 講師紹介 広報課長
- 3 テーマ
「中央区の森」事業について（環境推進課長）
- 4 意見・質問

意見 ○ 環境問題は地球規模で考え、区民一人一人が何をするか考え、また、子どもたちと一緒に考え、実行していくことが必要だと思う。「中央エコアクト」のように、区民に指針や目標を提示して一緒に歩むことが必要だと思う。

意見 ○ 欧州では2040年を目途にガソリン車の販売を禁止するという話があり、今後は電気自動車が主力になると思う。区役所の庁舎が新しくなる際に屋上にソーラーパネルを置いたり、中央区のベイエリアに小さな風力発電などがあっても面白いと思う。

環境推進課長（以下、課長） ☆ 電気自動車の普及促進のため、充電装置が区内に3カ所ある。自然エネルギーの活用も含め、新庁舎の建て替え時には最先端の環境に優しい建物を作ることを検討している。

意見 ○ 2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、マラソンコースを中心に熱をため込まない道路の舗装があるなら、ヒートアイランド問題の対策として区道でも取り入れてほしい。

課長 ☆ 遮熱性舗装という舗装に熱がたまらない仕組みを、区道の広幅員の日の当たる道路を中心に推進中である。都でも、この遮熱性舗装のほか、霧を吹きかけるクールスポットを設け、暑さを緩和していく施策をやっていくことである。

意見 ○ 建物の屋上や壁面の緑化推進のため、区内の事業所を対象にした壁面・屋上緑化を義務づける条例制定の検討をしてはどうか。法で縛るのは基本的には反対だが、こと環境問題は強制力が必要だと思う。

課長 ☆ 壁面緑化については区役所本庁舎や中央会館で実施しており、区としても極力進めていこうとしている。東京都の条例で、大規模ビルを対象に、ご指摘のようなものを実施している。

意見 ○ 環境対策推進のためには、さらなる財源の充実が必要だ。そのため、環境税として区民1人当たり幾らというような課税も検討してはどうか。

課長 ☆ 自治体によっては既に実施しているところがある。財政部局に意見を伝

えたい。

意見 ○ 屋上緑化などはいいことだと思う。ただ、中央区が森林を管理するのではなく、都市部の人間が地方に行き、そこで体験などをして地方にお金を落とすことがあってもいいのではないか。

課長 ☆ 区で森林保全活動の支援を考えたときに、都の環境局から紹介があり、檜原村を選んだ。地方という話があったが、同じ都内である檜原村を優先し、支援をしていきたい。

意見 ○ 「中央区の森」については、以前、広報で読んだとき、親子での自然体験の場を提供するものかと思ったが、今日の説明で、区が毎年排出している230万トンのCO₂を削減することもねらっているとわかった。ただ、そのことにお金を使うよりも、もっと区内で取り組むべきことがあるのではないかと思う。「中央区の森」で、とても230万トンも削減できるとは思えないが、ほかにもっと何か事業の目的があるなら、その点をしっかり区民に広報・周知していただきたい。

課長 ☆ 確かに「中央区の森」だけで230万トンのCO₂を削減しようとは思っていない。森林で吸収するCO₂はそんなに多くない。事業を通じて、区民に環境について考えてもらい、家庭からの排出を削減するのが狙い。区のCO₂排出源で一番大きいのは民生部門、つまり業務系と家庭系である。そこで区は、空調設備や冷凍冷却設備等を新しいものへの買い換えを促進するための助成制度など、少しでもCO₂を減らす施策を行っている。「中央区の森」については、一人一人の区民が環境問題に関心を持って、取り組んでいただくきっかけになればと思い実施しているもので、その点もあわせて、今後、さらに周知に努めたい。

意見 ○ 「中央区の森」には私も行ってみたいと思ったが、公共交通機関では行きにくいと感じた。区内の小中学生が1泊して、林間学校のように有効活用されるといい場所ではないかと思う。

課長 ☆ 春と秋に区主催の「中央区の森」体験ツアー（バス）を実施している。今年度分は終了したので、来年の春にご参加いただきたい。ご案内はホームページ等で行う。また、宿泊については、中央区では行っていないが、他の市区町村では現地の民宿を使ってやっているところもあるようだ。

意見 ○ エコアクトの資料を読んで、自分自身の生活を反省した。ここに書かれていることは簡単に実行できることなので、今度やってみたい。

課長 ☆ 以前のエコアクトは、今と比べて取り組みにくかったが、改訂して、実行しやすいメニューに工夫したという経緯がある。皆さんにもぜひチャレンジしていただきたい。

- 意見 ○ 中央区のCO₂年間排出量を区の人口や面積で割ると、全国平均よりもかなり高い値になる。それだけ中央区は圧倒的に多くのCO₂を排出しているのだということをまず認識して、環境対策に取り組まなければいけないと思う。
- 意見 ○ 「中央区の森」の有効活用としては、やはり教育、特に小学校高学年や中学生に体験させるのがいいと思う。その体験は、後々の子どもたちの生活に影響を与えるだろう。区がこれらの児童生徒を対象に、必ず1回は「中央区の森」に行く機会を設けたらどうか。
- 課長 ☆ 小中学生についてのご意見は担当する教育委員会に伝えたい。
- 意見 ○ 区のCO₂排出源として民生部門、とりわけ事業所が多いと思うが、事業所の冷暖房温度や営業時間について、区がもう少し積極的に行政指導、場合によっては条例で規制してはどうか。
- 課長 ☆ 区も環境行動計画を策定し、事業所に対しては、環境に配慮した活動をするように働きかけている。しかし、例えば事業所の冷暖房温度については、環境省からも推奨温度を示しているが、各事業所では固有の事情、例えば顧客の状況などから、それぞれ必要と思われる温度に設定しているし、営業時間の制限については、営業権の自由との兼ね合いもあり、なかなか条例による規制は難しいかと考える。
- 意見 ○ 「中央区の森」は、緑をなかなか増やせない中央区として、ほかの自治体の森を救うという発想・活動はいいなと思った。ただ、バスで片道2時間半はやはり遠いかなと感じた。今後、もし同様の森を設けるなら、1時間程度のところを希望する。
- 課長 ☆ 2時間半といっても、バスに乗るだけであつという間に着くという感じなので、ぜひ体験ツアーにご参加いただきたい。
- 意見 ○ エコアクトも非常にいい取り組みだ。これを例えば小中学生の夏休みの宿題に活用したらいいかなと思った。ちなみにエコアクトの資料はどこでもらえるのか。
- 課長 ☆ 夏休みの宿題など、教育に活用をしていただけるとありがたい。資料は区役所7階に配置してあるので、ご利用いただきたい。
- 意見 ○ 温暖化による異常気象が進み、環境問題への関心が高まっている中、「中央区の森」など、中央区は他自治体に参考となるすばらしい取り組みをしていることがわかった。今後も、中央区から模範となるような取り組みを発信していただきたい。2020年には、外国人観光客などが多数、訪れるので、さらなる取り組みに期待する。
- 課長 ☆ 今後も一層充実するよう取り組みたい。特に2020年に向けて、来

街者から、中央区はきれいな町だねとあっていただけるように頑張りたい。

- 質 問 ○ 「中央区の森」には、体験ツアー以外に個人で行くことはできるのか。その場合、例えば炭焼き体験などはできるのか。
- 課 長 ☆ 個人で行くことはできるが、その場合はツアーで行われている炭焼き体験などはできない。ただ、「中央区の森」の案内マップがあるので、それを見ていただければ、どこでどのようなことが行われているのか分かる。
- 意 見 ○ エコアクトは主に親子での取り組みが説明されていて、達成時にはプレゼントがあるとのことだが、子どもがいない家庭にも、何かモチベーションが上がり取り組めるメニューがあったらいいと思う。例えば電気代が平均額より大幅に下回った家庭には何か特典があるとか、新たなプレゼントなどを検討してほしい。
- 課 長 ☆ 実はエコアクトに関しては、以前はもっと特典があった。ただ、それがあまり効果的ではなかったのが、今のような特典になった。この点をご理解いただければと思う。
- 質 問 ○ 事業所における職場緑化対策が必要だと思う。具体的にどういうことを行い、その結果（数値）はどうか。
- 課 長 ☆ 建物の壁面緑化や、一定規模以上の開発事業の場合、屋上緑化などの指導を行っている。具体的な効果としては、「中央区の森」においては、平成28年度で182トンの吸収量があったと計算している。
- 意 見 ○ そのような取り組みや効果について、区民に情報があまり行き届いていないように感じるのので、定期的に区のおしらせに載せるなど、もっと周知した方がいいと思う。
- 課 長 ☆ 効果については、行政評価として区議会にも報告させていただいているほか、ホームページで取り組みや効果を載せているが、今後も工夫を凝らして周知に努めたい。
- 意 見 ○ 私も小中学生向けに、校外学習として「中央区の森」を活用することに賛成したい。確かに最近の子どもは、塾や習いごとで忙しいのかもしれないが、だからこそ学校行事にしないと、なかなか「中央区の森」に足を向けないと思う。私の周りでは「中央区の森ツアー」に参加したことのある人はいないし、知っている人も少ないと思う。豊海小学校の本棚などに、「中央区の森」の木を使っているのは有効な活用方法だと思う。
- 課 長 ☆ ご意見に感謝したい。学校行事にかかわることは、当課では決められないので、教育委員会に伝えていきたい。
- 広報課長 ☆ 往復に5時間かかるので、日帰りの遠足で行うのはやや難しいかなと思うが、かといって現地の宿泊施設にはあまり大規模なものがない。また散

策コースも、ひたすら登山道なので、中学生なら大丈夫だと思うが、小学校の低・中学年には厳しいかなと思う。このような課題はあるが、ご意見は教育委員会に伝えたい。

意見 ○ 「中央区の森」へ小中学生がなかなか行けないなら、授業で「中央区の森」のことを教えれば、大分意識が変わるのではないか。例えば「中央区の森」の木を使って、公園のベンチをつくられているなどと小学生が知れば、とても親しみを持つと思う。

課長 ☆ 教育委員会にどのような情報を出せるかを考えていきたい。

質問 ○ 区では誕生植樹を年1回やっていて、私も子どもが生まれたときに参加させていただいた。とてもいい施策だと感じた。ただ、今後、植樹の数が増えていくと、狭い中央区だから、古い植樹は移動させられてしまうのではないかと心配しているが、どうなるのか。

広報課長 ☆ 公園の改修に伴い、やむなく移設することはあるが、決して捨てるようなことはないので安心いただきたい。ちなみに、この誕生植樹を始めたころは、年間400人程度の新生児だったので1人1本の植樹だったが、今は2,000人で、とても1人1本はできないので、今のような形になった。

意見 ○ 浜町公園での夏祭りのとき、なぜ檜原村の出店があるのかなと思っていたが、今日の説明で納得がいった。区として檜原村の紹介を行えば、「中央区の森」にも区民はもっと親しみが持てるかなと思った。

課長 ☆ 区も檜原村の払沢の滝祭りに参加するなど、同村とは都市間交流を盛んに行っている。区では年1回、環境情報センターで檜原村紹介展を行っているので、ぜひそちらへもご来場いただきたい。

広報課長 ☆ 今年の区のおしらせでも、都市間交流の特集を行い、その中で檜原村について紹介したところである。

意見 ○ 区役所の7階に行ったら、「エコアクト」の資料や展示があって、自分の家の電気代がどの辺に位置するかなど、大変勉強になった。区役所に来て、普通、1階だけですませてしまうが、いろいろと区役所内を回ると情報があるのだなと思った。

意見 ○ 2020年のオリンピック・パラリンピックに向けて、「みんなのメダル」ということで、いわゆる都市鉱山を活用してのメダルづくりが進められている。現在も区役所でサンプルの展示などを行っているが、さらに周知すれば、区民のリサイクル意識も高まると思う。

質問 ○ 電気製品の使用などに伴うCO₂排出量の計算はどういう仕組みか。

課長 ☆ 電源の形態（火力、原子力、自然エネルギー）ごとにCO₂排出量の係数があり、それを電気使用量等に掛けるなどして計算している。ちなみに係

数は火力が一番高く、原子力が一番低くなっている。

質 問 ○ 環境推進課は騒音も担当とのことだが、交通騒音、建設騒音のほか、生活・営業上の騒音、例えば子どものはしゃぎ声、夜間営業の居酒屋・カラオケの音なども担当しているのか。

課 長 ☆ 交通騒音は担当していないが、建設や生活・営業上の騒音には対応している。ただ、騒音規制には一定の基準があるので、その基準以上の場合には、当該発生源者に指導ができるが、基準以下の場合、ご配慮ください程度のことしか言えない。

質 問 ○ 本日、私たちモニターからいろいろと意見が出たが、「中央区の森」の有効活用にかなりの方が関心あるようだ。それを受けての課長の決意を伺いたい。やはり環境問題対策を推進するには、環境部局がイニシアティブをとって、行政を動かしていかないといけないと思うので、ぜひ伺いたい。

課 長 ☆ 先般、区では中央区基本構想をとりまとめたが、その中には森林保全活動を継続的に支援して、子孫の世代まで、きれいな空気・水を残そうと書かれている。今後は、この基本構想を踏まえ、基本計画を策定していくが、ここでは、従来の施策を拡充・推進するとともに新たな施策も検討したい。

また教育に関するご意見をいただいたが、これは教育委員会の所管なので、当課で決定はできないが、環境学習のための情報提供をさらにしていきたい。

区では「中央区の森」を継続・推進するための寄附金制度を設けている。現在は、区内で開発事業を行う方々の開発協力金が主な財源になっているが、区民の方々からの寄附もあればありがたいので、ぜひご協力をいただきたい。

— 了 —